



安全な水とトイレを世界中に

人が1日に使う水の量と変化

- ・1人が1日に家庭で使う水の平均使用量は、1973年では約192リットル、2007年では約239リットル、2015年では約219リットルでした。
- ・人びとの生活スタイルが変かわってきたことによって、水の使う量が変わっています。



〈出典〉東京都水道局「平成27年度一般家庭水使用目的別実態調査」をもとに国土交通省水資源部作成

目的別家庭用水使用量の割合

水の使い道

2015年だと・・・

風呂＝87.6L

トイレ＝45.99L

炊事＝39.42L

洗濯＝32.85L

になります。

少しでも節約するためにできること

- 水を節約するために私たちにできること
- シャワーをこまめに止める。
- お湯張りしすぎないようにする。
- 水を出しっぱなしにしない。
- 油汚れは拭いてから洗う。
- しつこい汚れは、つけおきする。
- 蛇口漏れに注意する。

より節水するためのグッズ

シャワーヘッド

- 家庭で、トイレと浴室に次いで多く水を使用するのがキッチン。食器を洗う時などは、長時間水を流し続けることが多いですよね。シャワーヘッドは、蛇口の先に取り付けるだけで、出る水をシャワーにできるアイテム。水がシャワー状に広がるため、少ない水で効率的に洗い流すことができます。ヘッドはスイングするので、広範囲にシャワーできるのも特徴。



より節水するためのグッズ

シリコーン ハンディやわらか洗濯板

服やタオルに付いた落としにくい頑固な汚れ、洗濯機の念入りモードで洗いがちですよね？ 実は洗濯前のひと手間で、節水しながらきれいになるワザがあるのです。「シリコーン ハンディやわらか洗濯板」はミニサイズの洗濯板。洗濯物に洗剤をつけ、洗濯板でこすり洗いするだけで、頑固な汚れがきれいになります。仕上げは洗濯機のすすぎ1回モードやお急ぎモードでもOK!



より節水するためのグッズ

ペットボトルにつけておそうじ ブラシタイプ

- 部屋の掃除にも便利なアイテムがあります。「ペットボトルにつけておそうじ ブラシタイプ」は、ホースの水を使わなくても汚れを洗い流せる掃除グッズ。ボタンを押すと少量の水が出る仕組みで、必要最小限の水量で掃除ができます。



まとめ

- このように人の暮らし方によって水の使う量は変わるので、みなさんも節約したり、グッズを使ってみてください。